

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○		○		○	○	○	

## 企業の概要

企業・団体名	ソフトバンク株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	21,482名
事業概要	移動通信サービスの提供、携帯端末の販売、固定通信サービスの提供、インターネット接続サービスの提供		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規程
テレワーク担当部署	コーポレート統括 人事本部 人事企画統括部 人事企画部 労務厚生企画課
テレワーク対象者	業務用携帯電話またはPCを配布されている全社員
実施者数	15,807名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2008年には全社員にiPhoneを配布し、モバイルワーク可能な環境を構築。
- 2011年よりペーパーレスを実現・浸透しており、公的書類などやむを得ないものを除き紙媒体の資料や捺印がほぼ不要な状態を実現、その後の在宅勤務導入への円滑移行に寄与。
- 2015年4月より、育児介護事由による在宅勤務を導入。
- 2017年4月からは、働き方改革推進の一環として、社員が最適な働き方で組織と個人の生産性を最大化することを目的に、在宅勤務制度を拡大。当社では働き方に関するスローガンとして「Smart & Fun!」を掲げており、ITやAIを駆使して、全社員がスマートに楽しく働くことを目指しており、在宅勤務制度も、その実現に向けて導入。
- 2020年2月からは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、テレワークの利用回数の制限を撤廃。緊急事態宣言等の状況を見ながら、入社必須業務を除き、入社禁止や在宅勤務の推奨度合いを調整している。また、外出時や通勤時における移動時間を短縮する効率的な働き方を推進するため、サテライトオフィスも全社員に開放している。

## テレワークの概要・特徴

- 全社員にiPhone等を貸与し、全社員がモバイルワークを実施できる体制を構築している。
- WeWork(シェアオフィス)や関東東内の事業所等をサテライトオフィスとして開放しており、営業部門の社員が外回りの隙間時間に近隣のサテライトオフィスを活用するなど、外出時や通勤時における移動時間を短縮する効率的な働き方を推進している。
- さらに、在宅勤務時の光熱費や机・椅子・インターネットなどの勤務環境整備への支援として、毎月4,000円のWorkstyle支援金を支給している。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### 【生産性の向上】

- 在宅勤務に関するアンケートを実施した結果、新型コロナウイルス感染拡大前の生産性を50とし、在宅勤務が中心となった後の業務生産性が約60に上昇。

### 【BCP】

- 大雪や台風時に、在宅勤務を奨励。交通機関の乱れにより、早期帰宅・自宅待機を行った社員がいたが、業務に支障がなかった。
- 新型コロナウイルスの影響下においても、事業活動を止めることなく継続し、売上高、営業利益、純利益などの各種財務指標で好業績をあげている。